

資料配布：学研都市記者クラブ、京都府教育記者クラブ、  
奈良県文化教育記者クラブ、大阪教育記者クラブ

報道発表資料  
令和6年1月31日  
国立国会図書館関西館

## 第32回国立国会図書館関西館資料展示を開催します 「クイズ本・なぞなぞ本、大集合！」(2/22-3/19)

「さて、問題です。」こうして始まるクイズは、いつ頃から人々に親しまれてきたのでしょうか。現代では、謎解きゲームやテレビのクイズ番組で楽しんでいるクイズですが、テレビでクイズ番組が登場する前から、絵本や雑誌、本の世界でもクイズやなぞなぞは親しまれてきました。江戸時代には「判じ絵(はんじえ)」という絵のなぞなぞもあったことをご存じですか？

本展では、当館の所蔵資料の中から古今東西のクイズに関する資料を、時代に沿って「判じ絵、懸賞雑誌のクイズ」「テレビ・ラジオのクイズ番組」「パズル本、謎解き本」の3つのテーマで構成し、ご紹介します。

皆さんも一緒に、様々なクイズの世界を覗いてみませんか？



### ○概要

開催期間：令和6年2月22日(木)~3月19日(火) (日曜・祝日は休館)

開催時間：午前9時30分~午後6時

展示資料数：約70点

会場：国立国会図書館関西館 閲覧室(地下1階)

(〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3)

入場：無料・年齢制限なし(18歳未満の方は所定の手続の上でご覧いただけます。)

問合せ先：国立国会図書館関西館 資料案内(電話：0774-98-1341)

URL：[https://www.ndl.go.jp/jp/event/exhibitions/kansai\\_202402.html](https://www.ndl.go.jp/jp/event/exhibitions/kansai_202402.html)

○展示資料例

『<sup>ちえ</sup>智慧の考<sup>かんがえしほう</sup> 四方の読込み<sup>よみこ</sup>』加藤福次郎 刊、  
明 27【特 44-983】

明治 27 年に出版された、判じ絵を集めた図書。判じ絵とは、絵から連想される言葉を当てるクイズである。右の画像の左上の絵は「梨 (なし)」であり、前後の文字とつなげると、「かなしひ別れ」「はなしの序 (ついで)」などとなる。



『<sup>しんせんなぞぞあわせ</sup>新撰謎々合』安藤徳兵衛 編，文盛堂，明 16【特 60-66】

明治 16 年に出版された、三段なぞを集めた図書。三段なぞとは、「○○とかけて、○○ととく、その心は○○」の形式で知られる言葉遊びの一種である。右の画像では、「ランプとかけて、旦那をとりまく帮間 (たいこもち)、心はともしてせきゆかい」となる。



『TV クイズ大研究』北川宣浩 著，朝日ソノラマ，1980.12  
【Y78-5311】

テレビのクイズ番組に一般人が出場するためのノウハウが書かれた図書。「アップダウンクイズ」「クイズタイムショック」「史上最大！アメリカ横断ウルトラクイズ」などの番組、応募ハガキの出し方、予選の状況、勉強法、本番の状況などを紹介している。

\* 【 】は当館請求記号

○撮影について

開催期間中 (土曜日、日曜日、祝日を除く。) は午前 9 時から午後 7 時まで撮影が可能です。ただし、来場者がいる午前 9 時 30 分から午後 6 時の間は、来場者の撮影、周囲に聞こえるような音声を伴う撮影、大人数による撮影等のご遠慮いただく場合があります。なお、照明器具を使用する撮影はできません。撮影をご希望の場合は、来館前にご連絡ください。

## 資料展示関連講演会（3/2 14:00～） 「資料で見るパズル・クイズ・謎解きの変遷」

資料展示の関連イベントとして、<sup>ひがしだひろし</sup>東田大志氏（株式会社東田式パズル研究社代表取締役社長）をお招きし、クイズ・パズル・謎解きがどのように発展してきたのかをお話しいただきます。年齢を問わず、お一人でもご家族でもぜひご参加ください。

### ○講師紹介

日本で初めてパズル学で博士号を取得（博士（人間・環境学）京都大学 2016年）。大阪商業大学アミューズメント産業研究所研究員を経て、株式会社東田式パズル研究社を設立し、教室運営、ラジオ・テレビ出演、執筆活動を行っている。

主な著作に、『京大博士のパズルに挑戦：小学校高学年から大人まで』（京都新聞出版センター、2020）、『すべての論理思考はパズルが教えてくれる』（PHP研究所、2013）などがある。



### ○講師から

パズル・クイズ・謎解きは、近年とりわけブームのようになっていますが、実は古代の文献から存在を確認することができます。「世界最初のクイズとは?」「社会をパニックに陥らせたクイズとは?」「謎解きは古代の祭祀儀礼の一部だった?」などなど、クイズ・パズル・謎解きがどのように発展してきたのか、資料を基にしながら問いと答えの文化史をたどります。また今回の展示の見どころもご紹介します!

### ○概要

日時：令和6年3月2日（土）14:00-16:00

会場：国立国会図書館関西館 第一研修室（1階）

定員：70名（先着順、参加費無料）

申込方法：Webフォーム

URL：[https://www.ndl.go.jp/jp/event/events/kansai\\_20240302.html](https://www.ndl.go.jp/jp/event/events/kansai_20240302.html)



### ○資料展示及び関連講演会 問合せ先

展示内容について：国立国会図書館関西館 資料展示班 本田（電話：0774-98-1473）

取材申込み：国立国会図書館関西館 総務課総務係（電話：0774-98-1225）

（※）掲載した資料及びちらしの画像は、当展示会の広報の目的でお渡しすることができます。

資料の画像掲載の際には書誌情報及び当館所蔵であることを明記してください。